

## 委員会設置提案書

提案者 溝上 陽子

委員会の名称	国内外の光害規制研究調査委員会
英文表記	Research Committee on Light Pollution Reduction Measures in Japan and Abroad
事業部門	研究調査委員会
関連常置委員会名	視覚・色・光環境分科会
設置の趣旨	近年、海外の国や自治体で光害を規制するための法令・条例を制定する事例が相次いでいる。また、現在 CIE では光害（障害光）に関する複数の技術委員会が活動を進めており、光害への意識の高まり・規制強化という世界的な流れがある。昨年開催された国際ワークショップ Light Pollution 2022（主催：チェコ EU 議長国）では、チェコ環境省が欧州 32 カ国の光害規制の現状をまとめたレポート「Light pollution reduction measures in Europe」を公表しており、非常に有益な資料となっている。本委員会では、この資料をベースに国内外の国・自治体による光害規制について調査し、その目的・方法・規制値・課題などを整理する。本委員会の成果に基づき、翌年度以降に「暗い自然環境を守るための照明指針研究調査委員会(仮称)」を立ち上げることを見据える。
予測される成果	光害規制の国際的な現状を把握し、今後の国内における照明指針・規制値検討の際の資料を整備する。これは、星空保護・光害防止を積極的に推進する国内自治体にとっての基礎資料にもなる。
成果のフォローアップ (会員への還元)	委員会終了後に報告書を作成し、発行する（公開研究会は、翌年度以降に設立を予定している委員会にて実施する）。
委員会の構成 (氏名：所属)	委員長 越智信彰（東洋大学） 幹事 望月悦子（千葉工業大学）、伊東勇人（ネクスコ東日本エンジニアリング） 委員 北野貫（岩崎電気）、松井俊成（パナソニック）、原田陽子 8名程度
設置期間	2024年4月～2025年3月
委員会開回数／年	4回程度
活動計画	1. 海外の国・自治体による光害規制の調査・課題抽出 2. 国内の自治体による光害規制の調査・課題抽出 3. 結果の整理と報告書作成
経費 委員等の旅費の支給対象の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（理由：対面による委員会出席のため） 支給対象者名 原田陽子ほか1名 支給予算額 計 57,500 円 <input type="checkbox"/> 無
備考	

理事会の承認	承認 年 月 日
--------	----------